

新年あいさつ

両市長からの
メッセージ

函館市

青森市

函館市長
メッセージ



函館市長 おおいずみ じゅん
大泉 潤

新春を迎えて

新年あけましておめでとうございます。令和7年の新春を皆様とともに迎えられますことを心より喜び申し上げます。

昨年は、函館港へのクルーズ船の寄港が過去最多の58隻となり、モルック世界大会の開催や函館が舞台となった劇場版名探偵コナンの公開とコラボイベントの実施などにより、国内外から多くの観光客の皆様にお越しいただき、まちの賑わいを大変感じられた1年でした。

一方、長期化する物価高騰や労働力不足の常態化などにより、市民生活や事業活動への影響が続いているほか、喫緊の課題である人口減少については、歯止めがかかっていない状況が続いています。本市では、市が一丸となって人口減少対策に取り組んでおり、市民の暮らしを守ることはもとより、地元企業の活性化や雇用の拡大、子育て世帯の経済的負担の軽減や安心して子どもを産み育てられる環境づくり、「函館で学びたい、学ばせたい」という未来を見据えた学びの場の整備など、早急に着手すべき施策を優先して推進しております。

様々な課題が山積しているなか、市長に就任してから待ったなしの思いで市政運営に取り組んでまいりましたが、これらの取り組みは、その実現が目的ではなく、実現の先にある地域の活性化や市民福祉の向上、ひいては市民の幸福度の向上が最大の目標です。それを叶えるため、町会や各種団体、若い世代の皆様など、多くの市民の皆様の声をお聞きしながら、効果的な施策の推進に努めてまいります。

結びにあたり、今年1年の市政運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりまして、喜びと幸せに満ち溢れた年となりますことをお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

双子都市・青森市
メッセージ

新春のご挨拶

函館市民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、心新たに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、青函ツインシティ提携の盟約締結から35周年という記念すべき年であり、各種記念事業等を実施し、多くの皆様の御協力と御参加により両市の交流を深めることができました。心より感謝申し上げます。

中でも、昨年10月開催の「津軽海峡エリア料理人フォーラムin青森」では、函館市からも料理人や関係者の皆様にお越しいただき、青函圏の食資源や魅力を生かした食のまちづくりについて活発な意見が交わされたところであります。

引き続き、両市の持つ魅力的な資源を生かしながら、産業の活性化・交流の拡大などに取り組んでまいりたいと考えております。

青森港は、本年、開港400年を迎えます。青函連絡船の就航をはじめ、「みなとまち・あおもり」の歴史を語る上で函館市の存在は欠かすことができないものであります。開港400年を記念した様々なイベントも企画しておりますので、ぜひ青森市にお越しいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう心から祈念申し上げます。



青森市長 にし ひでき
西 秀記